

切れ字（や・かな・けり）に○をつけ、作者が心を動かしたことをア・イ・ウからえらびましょう。 **こたえ**

※ ○と記号がどちらも合っていれば○

① 閑かさ^{しず}や^い 岩^{いわ}にしみ入る^い 蝉^{せみ}の声^{こえ}

まつおばしろう
松尾芭蕉

ア せみの^{こえ}声がうるさくてたまらないこと

イ 岩^{いわ}がとても^{おお}大きいこと

ウ あたりがしんとしているしずかさ

こたえ

ウ

② 夏草^{なつくさ}や^{つわもの} 兵どもが^{ゆめ} 夢の跡^{あと}

まつおばしろう
松尾芭蕉

ア 武士^{ぶし}たちの^{ゆめ}夢の^{なつくさ}あとに、夏草がしげっていること

イ 夏草^{なつくさ}の上で^{うえ}子どもたちが^{あそ}遊んでいること

ウ 戦い^{たたか}に勝^かってうれしいこと

こたえ

ア

③ 名月^{めいげつ}を とって^なくれろと 泣く子^こかな

こばやし いっさ
小林一茶

ア 月^{つき}が雲^{くも}にかくれてざんねんなこと

イ 月^{つき}をほしがって泣く^な子どもの^こかわいらしさ

ウ 子どもがねないでこまっていること

こたえ

イ

④ 赤^{あか}とんぼ 筑波^{つくば}に雲^{くも}も なかり^{なかり}けり

まさおかしき
正岡子規

ア とんぼがいなくな^なってさびしいこと

イ 山^{やま}に雲^{くも}がかか^みって見えないこと

ウ 雲^{くも}ひとつない、すみき^{あき}った秋^{そら}の空

こたえ

ウ

